

平成 30 年（2018 年） 2 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 2 日 目 ）

平成 30 年 2 月 22 日（木）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 子育て支援について 2 子ども寄添支援員配置事業について 3 認定こども園について 4 放課後児童クラブについて 5 緑ヶ丘公園集会所(仮称)の設置について 6 教育行政について	(1) 中学校入学前に新入生徒学用品費の支給が始まる。対象人数と支給金額を問う (2) 本市における小中学校の新入学児童生徒学用品費を増額してきた推移を問う 子ども寄添支援員(スクールソーシャルワーカー)配置事業の目的と効果を問う 公立幼稚園から移行した認定こども園で、給食が導入されて保護者から大変喜ばれている。給食の提供はどのように行われているのかを問う 本市では放課後児童クラブの学校内への設置が進んでいる。新年度予算において、神原小区児童クラブ舎の専用施設建設がある。スケジュールを問う 久茂地地域の皆さんが望んでいる地域のコミュニティと児童の健全な育成を支援する施設の開設に向けたスケジュールを問う 本市の小中学校における髪型と校則はどうなっているのかを問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)		【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 2 月 22 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	當 間 安 則 (維新・無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 中心商店街の活性化について 2 障がい者支援事業について 3 市営住宅跡地利用について	第一牧志公設市場を中心とした中心商店街の活性化を図るために、商店街や通り会と連携した頑張るマチグッー賑わうマチグッーが期待されている。以下伺う (1) 仮設市場建設の課題とその対策について伺う (2) 仮設市場移転時の課題とその対策について伺う (3) 周囲の商店街、通り会の今後の整備・取り組みについて伺う 市長の施政方針で「障がいのある方が安心して暮らし、働けるよう、就労支援や身体的介護、生活訓練等の障がい福祉サービスを提供します。」と述べている (1) 就労移行支援サービスの現状と課題について伺う (2) 軽度知的障害、発達障害のある人に対する支援の取り組みについて伺う (3) 視覚、聴覚障がい者へのＩＴ支援ソフトの利用状況、課題について伺う 旧田原市営住宅跡地利用について、以下伺う (1) 現在までの経緯について伺う (2) 今後の方向性について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 動物愛護行政について	「犬猫殺処分ゼロ」を目指す活動の中で、行政の取り組みも解決策が難しい実状があるが、動物愛護管理思想を持ち、生活環境悪化の低減に努めなければならない (1) 高齢者によるペットの飼育状況と飼えなくなったときの対策・取り組みについて伺う (2) 譲渡活動の周知取り組み、成果について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成30年2月22日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	平 良 識 子 (ニ ラ イ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 文化行政について	那覇市のこれから 100 年の発展の礎となるのは、琉球王国の歴史から紡いだ独自の文化である。以下、伺う (1) 文化芸術振興条例(仮称)の制定について 那覇市新文化振興基本計画の策定を次年度に着手予定であるが、都市計画やまちづくり含めて文化がいかされる取り組みが全庁的に求められており、そのためには文化芸術振興条例(仮称)の制定が必要である。制定に向けて見解を伺う (2) 「東アジア文化都市」事業の那覇市開催について 那覇市制 100 周年とあわせて、文化庁事業である「東アジア文化都市」の誘致について、取り組みを伺う (3) 伝統工芸産業の支援について 組合の持てない伝統工芸産業の継承支援について伺う
		2 歯の健康行政について	(1) 子どもたちの歯の健康について、沖縄県は 12 歳(中学 1 年)の一人平均虫歯数が 10 年以上も全国ワースト 1 位が続いており、一人で虫歯が 10 本以上ある口腔崩壊も深刻な状況にある。那覇市の子どもたちの虫歯の現状について伺う (2) 歯科口腔保健条例(仮称)の制定について、見解を伺う
		3 にぎわい広場施設材の再利用について	にぎわい広場にある施設については、牧志第一公設市場の仮設店舗の建設に伴い今年度に解体されることになっている。建築家らより、施設に利用されている木材が優れており、廃棄処分するにはもったいないため、再利用できないかとの声がある。見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 動物愛護行政について	(1) 次年度の犬猫の収容及び殺処分に係る県委託料及び一頭一匹あたりの算出額について (2) 住環境の改善及び犬猫殺処分を減らす取り組みとして、殺処分の大半を占める飼い主のいない猫へのTNR事業について、市内全域を対象として1年となった。市民から評価とともに事業の広報周知に取り組んでほしいという声をよく聞くが、次年度の取り組みを伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成30年2月22日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	宮平 のり子 (ニ ラ イ)	1 介護保険行政について	平成12年(2000年)に介護を社会的な問題ととらえ、スタートした介護保険制度、那覇市も第7次高齢者プランを重ねるまでになった。高齢者が、身近な地域で医療及び介護などのサービスを受けられる「地域包括ケアシステム」を推進していくために地域包括支援センターも、12カ所から18カ所に増設と施政方針に示している。在宅においても、施設においても高齢者の尊厳を最後まで守ることができる制度になっているか以下伺う (1) 第7次高齢者プランの概要 (2) 日常生活支援総合事業の概要 (3) 第三者評価等の推進について 第7期高齢者プランの施設サービス及び地域密着型サービスの整備計画にある事業所の自己評価・外部評価・第三者評価などについて
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 佐藤惣之助 詩歌碑の移設 について	佐藤惣之助の詩歌碑が元あった首里城公園への移設を求める陳情が10月4日に那覇市議会で議決された。これを受けて川崎市川崎沖縄県人会では、沖縄に修学旅行する事前研修として役立てたいと川崎市と沖縄の長い友好の歴史が学べる「観光支援・歴史教育ビデオ」(仮称)の制作が始まった。また、川崎沖縄県人会、川崎市観光協会、川崎今昔会(斎藤文夫会長)は詩歌碑の移設とあわせて、移設経緯や川崎市との縁を記した広報看板(説明板)を設置しようと、募金の動きもあるようである (1) 詩歌碑の首里城公園への移設について県との協議の進捗を伺う (2) 詩歌碑設置と同時に説明板も必要と考えるがその認識について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 油漂着について	2月15日新聞紙上の報告によれば、1月6日に発生した上海の東約 300 キロで発生した貨物船とタンカー(軽質原油コンデンセート 11 万トン、重油 1900 トン)の衝突事故から流出したとみられる油が奄美大島での海岸に漂着、絶滅危惧種のアオウミガメが油を吸引し窒息死するなど、深刻な実態が次々に報告された。さらには沖縄本島西側を南下、ついには那覇港港口まで到達している報道がなされたが、油の漂着が確認された場合の対応について伺う
		4 真和志支所の建て替えについて	真和志地域に住む住民にとって、老朽化した真和志支所の建て替えは緊急な課題のひとつである。施政方針で示されている、中央図書館や公民館との複合化を視野に、建て替えに向け具体的に進めていく進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 2 月 22 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	上 里 直 司 (なはの翼 f 協働) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 円鑑池の管理と県への移管とそこを踏まえた観光振興について 2 本市の公共施設の修繕について 3 那覇市公文書館(仮称)の設置にむけて 4 市道鳥堀 12 号について	(1) 最近、市長は、円鑑池を訪れたことがあるか。現状を見てどのような感想を持ったか伺う (2) 平成 29 年 9 月定例会において、「池の浚渫、石積み補修という課題もあるが、担当課から予算要求すべき」との質問に対して、市は「今後課題解消に向けて予算措置などを含めて関係部署と調整してまいります」と答弁している。調整の内容とその結果を伺う (3) 「文化財保護の観点からも、那覇市が所有している円鑑池など首里城関連文化財と首里城跡とは一体として管理運営することが望ましい」という本市の方針は堅持されているのか (4) 龍潭との接続箇所池から水が漏れている影響で遊歩道が歩きづらい状況が続いているが、その現場を確認しているか。また、その原因の特定のための調査及びそれを踏まえた対策を講じているのか伺う 本市の公共施設において、平成 30 年 1 月末時点で約 6 カ月間、修繕がされず機能が停止したままの設備、機器が何箇所あるか伺う 市は、非現用文書の管理・公開に関する規定整備に取り組む意向であるが庁内での調整は進んでいるか。また、その運用等も含めて県公文書館との意見交換なども進めるべきではないか 2 月 13 日、未開通だった那覇市部分が開通し、利便性が高まった。地域等からの安全対策への要望について、どのように取り組むのか。また、この市道へのバス路線の新設を求めるべきではないか 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 2 月 22 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	吉 嶺 努 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	施政方針について	(1) (健康、差し迫った危機を乗り越えるために)「生活習慣病の重症化予防に向けた取り組みをより一層、強化してまいります」また、(すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり)「働き盛り世代が職場や地域で自主的に健康づくりを行い、特定健診を受診して、生活習慣病や早世の予防につながるよう支援を行います」と述べられたが、市長を筆頭に市民を支えるために日夜仕事を行っている那覇市職員の健康管理について伺う ① 那覇市職員の安全衛生・健康を守るための専属産業医は選任されているか ② 産業医とともに産業保健活動を担うための産業保健師は何人か。また、衛生管理者は何人選任されているか ③ 産業保健師の活動の位置付けはどうなっているか。例えば、那覇市職員安全衛生管理規則に規定はあるのか ④ 那覇市職員の健康診断受診率はどれくらいか。また、保健指導や受診勧奨等の健康診断事後措置の実施率はどれくらいか ⑤ ストレスチェックは行われているか。また、メンタル不調を含む休業者は何人いるか。そもそも長時間勤務などの実態把握はどのように行われているのか (2) 那覇市民の健康づくりに対する取り組みについて伺う ① 生活習慣病対策への具体的な支援の取り組みとして、特定健診・特定保健指導があると思うが、那覇市における受診率と階層別の結果、保健指導実施率と改善の経過などについて伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			② 心の健康問題について伺う。メンタルヘルス対策については、どのようなことに取り組んだか ③ 今年度の健康づくりポイント制度は、結局何人が参加したのか。応募締め切りが延長されているが、それはなぜか ④ (身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり)「糖尿病等の重症化予防の取り組みに向け、CKD登録医をはじめとするかかりつけ医等と連携を図り、人工透析への移行を防止する取り組みを強化します」とのことだが、具体的にはどのような取り組みが行われたか (3) 交通行政について伺う (交通問題への挑戦)「高齢者などの交通弱者や環境にも優しく、また、市民の健康づくりにも貢献することを意識していきます」 (地域で暮らし地域で支えるまちづくり)「障害のある方が安心して暮らし、働けるよう、就労支援や身体的な介護、生活訓練等の障害福祉サービスを引き続き提供します」(暮らして良し歩いて楽しい快適なまちづくり)という項目があるにも関わらず、歩道・自転車道について触れられていない 乗り物の整備の前に歩きやすい道、自転車や車いすでも移動しやすい道が必要ではないか。併せて、公共機関へアクセスしやすいエレベーターの整備など、沖縄県福祉のまちづくり条例が実現することが基礎になるのではないか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（２日目） 平成 30 年 2 月 22 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	久 高 友 弘 (自 民 党) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	龍柱の件について	(1) 昨年の 12 月定例会で龍柱の件について取り上げた。龍柱に幾多のヒビ割れがあることを指摘したが、当局はその件について調査したか、伺う (2) 龍柱のヒビ割れはどんどん広がり今後さらに増えることが容易に想像できる。当局はヒビ割れ対策をどのような方法で実施するつもりか、伺う (3) 那覇・福州友好都市交流シンボルづくり整備工事（その 1）で、まず元請事業者がいて 1 次下請事業者、2 次下請事業者、3 次下請事業者による施行体制になっている。このような施行体制で行われた事業は例が少ない 元請事業者沖栄建設が 1 億 1,793 万 6,000 円で那覇市と契約し、約 1 カ月後に第 1 次下請事業者のがきや興産に 2,238 万 6,000 円差し引かれて 9,555 万円で下請けさせたが、元請事業者は差し引いた 2,238 万 6,000 円で何をしたか伺う (4) 第 1 次下請事業者のがきや興産は下請契約をしたわずか 2 日後に 1,365 万円差し引いて 8,190 万円で第 2 次下請事業者の松達株式会社の下請けさせた。なぜ、何もせずのがきや興産が 1,365 万円儲かるように第 2 次下請事業者にしたのか、伺う (5) 第 2 次下請事業者松達株式会社から第 3 次下請事業者である福建省にあるケンレイ石材有限会社とは契約書も交わさないまま第 2 次下請業者が受け取った下請金額から 1,565 万 5,600 円差し引かれて石材の見積金額 6,624 万 4,400 円が支払われている。差し引かれた 1,565 万 5,600 円の行方はどうなったのか、伺う (6) 第 2 次下請業者の松達株式会社は現在どこにあるか。また、平成 27 年 4 月に社名をニューワールドビジネスに変更したが、その会社がどこにあるか、伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(7) 龍柱の件が議会でいろいろ取り上げられていた頃(平成26～平成27年)松達株式会社の登記上の住所にプレハブがあり、中国人と思われる従業員がいたが、看板は山城開発となっていた 松達株式会社と確認できる建物は見つからなかったが、当局は調査したか、伺う (8) 龍柱は福建省のケンレイ石材有限会社から6,624万4,400円で仕入れたことになっているが輸入許可通知書を確認すると、4回分の貿易取引価格が合計3,602万7,042円となっている 3,602万7,042円の内訳は、龍柱の価格と輸送費と税金と保険料の合計金額となっている。となると龍柱の価格は3,602万7,042円から輸送費604万8,037円と税金288万5,000円と保険料は輸入許可通知書からははっきり分らないが、それらを差し引くと2,600万円から2,700万円以内になることが想定される ケンレイ石材有限会社からの仕入価格と実質価格の差が2倍以上も違うが、その理由を伺う (9) 輸入許可通知書によると龍柱のパーツは4回に分けて船便で送られたことが分かる 2014年(平成26年)11月25日、12月9日、12月23日、12月29日に入港している。原産地は中国で積み出し港は香港が2回、台湾の高雄から2回となっている。しかし那覇港情報システムによると新港埠頭9号岸壁への着岸が4回とも高雄からの出港便となっている。なぜ龍柱パーツの積み出し港と出港場所が違うのか。理由を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長